



黒石ならではの 物産手帖

黒石市物産
ガイドブック





黒石ならではスイーツ
P05 ⇒ P11



黒石ならでは地酒
P13



黒石ならでは食産品
P15 ⇒ P17



黒石ならでは創作品
P19 ⇒ P23

黒石ならではの
魅力的な品々との出会いを
お楽しみください。

津軽平野から十和田湖方面へ――。

南八甲田のふもと、平野と山々の境目に位置する場所に
藩政時代の風情を残す城下町「黒石」があります。

冬の厳しさから生まれた独特の特産品

古くから受け継がれた伝統の技と味

八甲田の伏流水で仕込まれた地酒などなど。

お店を訪ねて見て触れて、その土地の文化から生まれた
魅力的な品々との出会いをお楽しみください。



「洋菓子 シェール」

黒石市泉町90 TEL.0172-53-2737

☎9:00~19:30

☎不定休



「津軽こけし館」

黒石市袋富山72-1 TEL.0172-54-8181

☎9:00~17:00 ☎年中無休

<http://tsugarukokeshi.com/>



りんご紀行

じっくり丁寧に作られた自家製りんごジャムをサンドし、ソフトなミュルプタイクのさわやかなバター風味。華やかなりんごの味と香りをお楽しみください。

こけしのあたまんじゅう

(津軽こけし館限定パッケージ)

津軽こけしのふるさと・黒石市にあるお菓子屋さん「おかしのオクムラ」がこけしへの愛を込めて作った「あたまん」。おいしい黄身餡をもちもちな生地で包んだ可愛いあたまんじゅうです。



黒石ならではの スイーツ

CONTENTS

- P 05 りんご紀行
- P 05 こけしのあたまんじゅう
- P 06 七々子
- P 06 黒い石だたみ
- P 07 銘菓シャロン・黒石シューロール
- P 07 ミニクレープ
- P 08 あつぷるパイ
- P 08 アイスクリーム
- P 09 ねぶた煎餅
- P 09 バウムクーヘン各種、オリジナル焼き菓子
- P 10 干梅
- P 10 おはぎ
- P 11 四半餅
- P 11 串だんご・こけしだんご





銘菓シャロン 黒石シューロール

三笠宮寛仁親王殿下も愛され、内閣総理大臣賞やモンドセレクション2019で最高金賞を受賞した「銘菓シャロン」、ふんわりとした食感で深いコーヒーの香りが広がります。モンドセレクション2016で銀賞を受賞した「黒石シューロール」も人気です。

「シャロン甘洋堂」

黒石市前町17-9 TEL.0172-52-4688
 営業9:00～19:00 ㊿不定休(お問合せください)
<https://syaron.com>



MAP 05 MEMO



七々子

津軽の伝統工芸「津軽七々子塗」。その美しさに魅了され、七々子の模様をスイーツで表現しました。上品で高級感があり、思わず手にとりたくなるスイーツです。ショコラクリームの中にフランボワーズジュレを合わせた情熱の一品で、お土産品として大人気!!

「ベル・プランタン笹屋」

黒石市吉乃町4 TEL.0172-52-5420
 営業9:00～20:00
 ㊿火曜日

MAP 03 MEMO



ミニクレープ

生チョコ
 ストロベリー
 ブルーベリー
 コーヒークリーム

リスボンといえばミニクレープ! もちっとしたクレープの皮に、生クリームをはさみ、ロール状に巻いた小さめのクレープです。大人から子供までとても人気の商品です。

「リスボン菓子店」

黒石市くみの木二丁目56 TEL.0172-53-0644
 営業9:00～19:00
 ㊿週一不定休(主に月または火)

MAP 06 MEMO



黒い石だたみ

ざくざくピーカンナッツ入りのショコラブラウニーケーキに、特製ガナッシュチョコをサンドしたオクムラ自慢の一品。黒石の地名を活かした商品名とスタイリッシュなパッケージでお土産にも大人気です!

「(株)おかしのオクムラ」

黒石市大町二丁目53 TEL.0172-52-2841
 営業9:00～20:00 ㊿不定休(月二回程度)
<https://m.facebook.com/okumura1952>



MAP 04 MEMO



ねぶた煎餅

大正12年創業以来、代々津軽せんべいの伝統の技を守り続ける老舗のお店。「ねぶた煎餅」は7種類の煎餅が合計40枚入っている詰め合せです。贈答品としても喜ばれ、またもらっても嬉しい！パッケージにはねぶた絵がデザインされ、青森県を象徴するような豪華化粧箱入りです。

【(株) 渋川製菓】

黒石市東新町一丁目7 TEL.0172-52-2381
 営業8:00~19:00 ㊟第3日曜日
<http://www.shibusen.co.jp>



MAP 09 MEMO



あっぷるパイ

紅玉
ふじ

りんご農家のかつちや(お母さん)達が自分で食べてハマるパイを作りました。「紅玉」は本来の酸味を活かして、甘いけれど後味すっきり。「ふじ」はふじらしい甘さを前面に出しつつ食べやすい味になっています。

【(株) 青森りんごランド】

黒石市高館甲花岡135-2 TEL.0172-53-5701
 営業9:00~17:00 ㊟日曜日・祝日(1月~3月は土曜日休業)
<http://www.ringoland.co.jp>



MAP 07 MEMO



バウムクーヘン各種、 オリジナル焼き菓子

店内で焼き上げた数種類のバウムクーヘンと、かわいらしいオリジナルのお菓子が買えるお店です。出来立ての美味しさにこだわった商品は、どれもお土産やギフトに最適です。

【BOCOLABO】

黒石市油横丁22-1 TEL.0172-78-0708
 営業10:00~18:00 ㊟木曜日

MAP 10 MEMO



アイスクリーム

すべて手作りのアイスクリームです。昔なつかしいアイスキャンディーの「あずきキャンディー」は小豆を煮るところからすべて手作りで。楽しいネーミングの「もりもりアイス」など、手作りならではの素材で優しい味わいがあるアイスクリームです。

【須藤冷菓店】

黒石市大町二丁目121 TEL.0172-53-0440
 営業11:00~18:00
 ㊟不定休(9月中旬~4月下旬休業)

MAP 08 MEMO

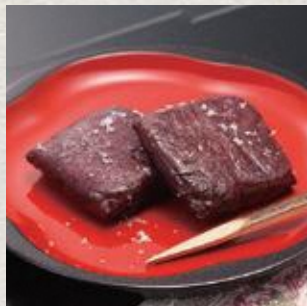


四半餅

「中町こみせ通り」の一角にある創業190年以上の歴史を持つ餅店です。上新粉とあんを練り合わせ、臼と杵で丁寧についた「四半餅」は、江戸時代からの手法そのままの当店自慢のお餅です。「あずき、しろあん、ごま」の3種類があります。また冷凍販売の「抹茶生クリーム大福」も人気です。

「寺山餅店」

黒石市中町36-1 TEL.0172-52-2826
 営8:00~19:00 ㊿元日
<http://www.terayamamochiten.com>



干梅

「中町こみせ通り」の一角にて明治後期から営みが続いているお店。「干梅」は津軽地方で作られる梅干しに模して作られ、地元では「梅干し菓子」と呼ばれ親しまれています。白餡を薄い求肥でくるみ、塩漬けしたしそで包んだ「干梅」は、しその塩味と餡の甘さが絶妙な味わいです。

また、ほのかな塩味の「こみせ最中」も好評です。

「(有)松葉堂まつむら」

黒石市中町30 TEL.0172-52-3574
 営8:00~19:00
 ㊿不定休



串だんご こけしだんご

串だんご一筋50年! まったりと口当たりの柔らかいお団子は、3種類の味が楽しく、思わず和むスイーツです。だんご一つひとつがくっついていないのは、機械ではなく手作りの証。磨かれた職人の技・味を、ぜひ一度ご賞味ください。

「横浜屋」

黒石市山形町142 TEL.0172-52-5503
 営8:00~19:00
 ㊿不定休



おはぎ

やわらかく炊きあげたもち米(自家製)をあん(北海道産の小豆を昔ながらの製法で作っています)でくるんだ一品です。他にも大福、よもぎ大福、いなりもありますよ。

「沖野もち店」

黒石市元町2 TEL.0172-52-2513
 営8:00~(無くなり次第終了)
 ㊿毎週月曜日





特別純米酒
菊乃井

文化3年(1806年)創業、「中町こみせ通り」で215年の伝統を受け継ぐ造り酒屋。「特別純米酒 菊乃井」は青森県の「華吹雪」を使用した辛口酒。飽きのこないスッキリとした飲み口。

「(株)鳴海醸造店」

黒石市中町1-1 TEL.0172-52-3321

☎8:30~16:30 ㊟不定休

<http://narumijozoten.com>



特別純米酒
亀吉

大正2年創業、大きな杉玉がひときわ目を引く、「中町こみせ通り」の一角にある造り酒屋です。「亀吉」は全国にもファンが多い人気のブランド。手づくりの気品あふれる味わいで、さわやかな辛口タイプのお酒です。

「(株)中村亀吉」

黒石市中町12 TEL.0172-52-3361

☎8:30~16:30 ㊟不定休



P 13 特別純米酒 菊乃井
P 13 特別純米酒 亀吉

CONTENTS

黒石ならではの地酒



黒石ならではの 食産品

CONTENTS

- P 15 黒石つゆやきそば・黒石やきそば
- P 15 南八甲田の水で育った
黒石産野菜のクリーミーポターージュ
- P 16 津軽みそ蔵の助
- P 16 シヤイニー
スパークリングアップルジュース
- P 17 りんごジュース
- P 17 J1ステークソース

黒石ならではの食産品



黒石つゆやきそば 黒石やきそば

やきそばのまち・黒石を代表するソウルフード!モチモチとした食べごたえのある太平洋圏と特製ソースがクセになる味。B級グルメとして大人気の「黒石つゆやきそば」は、黒石やきそばにだしがかけられたもので、こちらもまた絶妙な味わいです。やきそば専門店「すずのや」の味を、ご家庭でもぜひお楽しみください。

「すずのや」

黒石市前町1-3 TEL.0172-53-6784
◎11:00~15:00 ㊿毎週火曜日

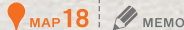


南八甲田の水で育った 黒石産野菜の クリーミーポターージュ

八甲田連峰の伏流水が湧き出る地・黒石のおいしい水で育まれた野菜をクリーミーなポターージュに仕立てました。野菜の旨みがたっぷり入った濃厚な味わいです。小さいお子さまにも安心な無添加・無着色。北国の自然の旨みを、ぜひご賞味ください。

「(一財)黒石市観光開発公社」 (お取り扱い「津軽こみせ駅」)

黒石市大字板留字杉の沢2-22 TEL.0172-54-2358
◎虹の湖公園 / 9:00~17:00(4月中旬~11月下旬)
ダム資料館 / 4月~11月無休(12月以降は土日祝休業)
㊿冬期間 <http://nijinokopark.jp>





りんご ジュース

津軽平野から南八甲田、ちょうどその山々が始まる場所にあるのが、黒石市。寒暖の差があり、おいしいりんごが穫れる産地です。山合にある園地から穫れたりんごを、ブレンドせず単一品種ごとに搾り、りんごそれぞれの個性をそのまま封じ込めた無調整りんごジュースです。

「黒石観光りんご園」

黒石市浅瀬石清川106
TEL.0172-52-8898
☎9:00~16:30 ㊿年中無休



J1ステーキソース

当店オリジナルのステーキソースをベースに、青森県産のりんごにんにくをたっぷり使い、醤油と昆布だしで和風に仕上げました。お店の味をご家庭でも楽しめます。日本(JAPAN)を代表して世界に羽ばたけ!との思いを込めた「J1ステーキソース」を、ぜひご賞味ください。

「(有)レストラン御幸」

黒石市中町36 TEL.0172-52-2558
☎11:00~22:00 ㊿不定休
<https://www.miyuki.rest/>



津軽みそ 蔵の助

みそ造りのこだわり

- ①青森県産大豆、黒石米、国内産食塩(天日塩)100%使用
- ②麴用の木箱で丹精込めて手づくりしたこうじを使用
- ③大豆と米の割合を1:1で仕込んだ(10割こうじ)長期熟成みそ

「(有)横山醸造」

黒石市乙大工町6 TEL.0172-52-3366
☎8:00~17:00
㊿土・日・祝日



シャイニー スパークリング アップルジュース

青森りんごとソーダが出会い、おいしいジュースになりました。「スタンダード」は、モンドセレクション2011~2013で3年連続最高金賞受賞商品。雑味のないスッキリとした味わいの炭酸ノンアルコール飲料です。モンドセレクション2014年金賞受賞商品、果実感のあるコクと甘さが特徴の「マイルド」や、2019年春発売・甘さ控えめ強炭酸でちよつとすっぱい青りんご風味の「ドライ」も好評です。

「青森県りんごジュース(株)」

黒石市相野178-2 TEL.0172-52-2321
☎8:00~17:00 ㊿土・日・祝日
<http://www.shinyapple.co.jp>





「阿保こけしや」

黒石市花巻34-3 TEL.0172-54-8865

☎9:00~18:00

☎不定休



阿保六知秀 工人
こけし

6寸牡丹こけし

8寸牡丹こけし

第55回全日本こけしコンクールで内閣総理大臣賞を受賞した、阿保六知秀工人の工房。津軽藩の家紋である牡丹の花を描いた伝統的な温湯こけしや、干支こけし、だるまキーホルダーなど津軽らしい創作品を制作しています。

阿保正文 工人
こけし

りんご帽子こけし4寸

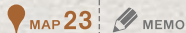
遊び心のある作風で人気の高い、阿保正文工人の「りんご帽子こけし」は、りんごの中から生まれたようなイメージでとってもチャーミング。手の平サイズでとてもかわいいと評判です。(要事前連絡)

お取り扱い「阿保こけしや」

黒石市花巻34-3 TEL.0172-54-8865

☎9:00~18:00

☎不定休



黒石ならではの
創作品

CONTENTS

- | | |
|------|--------------|
| P 19 | 阿保六知秀工人こけし |
| P 19 | 阿保正文工人こけし |
| P 20 | 山谷レイ工人こけし |
| P 20 | ずぐり独楽(さら・かぶ) |
| P 21 | こけし灯ろう |
| P 21 | こけし |
| P 22 | 津軽烏城焼 |
| P 22 | 津軽塗 |
| P 23 | ボツコ靴 |
| P 23 | 黒石よされ丁シヤツ |



「こけし灯ろう店」

黒石市大字浅瀬石字清川172-1
TEL.090-2957-6533
(お問合せ、ご注文はお電話にて承っております)



MEMO

こけし灯ろう

津軽系こけしの形をしたものや、武者絵が描かれたえんつご型まで、形も大きさもさまざまな「こけし灯ろう」。その他、津軽凧やこけしグッズ、タオル掛、コースター、うちわなど津軽の民芸品を中心に、お土産品をたくさん取り揃えています。



山谷レイエム こけし

6寸ギョロ目こけし
4寸ギョロ目こけし
8寸ダルメ絵こけし

こけしには珍しい巻き毛の髪とギョロットとした目が特徴の、山谷レイエムさんのこけし。地元黒石の林檎やモミジ、椿の花などが絵付けされ、遊び心と愛嬌あふれる表情が人気です。

お取り扱い「津軽こけし館」

黒石市袋富山72-1 TEL.0172-54-8181
◎9:00~17:00 ㊟年中無休
<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 24



MEMO



お取り扱い「市内各お土産店」 (津軽こみせ駅、松の湯交流館ほか)

TEL.0172-52-9610 (製作者:今 金雄)

こけす

地域の活性化を目指した高校生が、地場産業である津軽の伝統こけしと世界的なチェスゲームをコラボレーションさせました。その名を「こけす」といいます。こけしのように可愛らしく、チェスの要素により世界に販売できる、黒石市だけのお土産として製作されています。駒を利用したストラップや箸置き、マグネット、カードスタンド、ブローチ、キーホルダー等もあります。



MAP 26



MEMO



ずぐり独楽 (さら・かぶ)

「ずぐり」とは、津軽地方伝統の独楽(こま)で、雪の上で回して遊びます。上部に軸がなく、内側はすり鉢状で、底部に「立ち子」と呼ばれる太い軸がついているのが特徴。主に、お皿に似た平たい形の「さら」と、野菜のカブのように、胴体部分が膨らんでいる「かぶ」の2種類があります。

「津軽こけし館」

黒石市袋富山72-1 TEL.0172-54-8181
◎9:00~17:00 ㊟年中無休
<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 25



MEMO





ボッコ靴

1970年代に姿を消してしまった雪国の長靴「ボッコ靴」。2005年に見事に復活させた、幻の長靴です。天然生ゴムを使用し、裁断から成形までの全行程を手作業で行います。長時間の雪上作業でも足が冷たくならないのが最大の特徴です。

「Kボッコ(株)」

黒石市横町1-2 TEL.0172-52-2181
 営業9:00~18:00 ㊿不定休
<http://www.k-bocco.com/>



黒石よされ Tシャツ

江戸時代から続く日本三大流し踊り「黒石よされ」をモチーフに、青森出身の版画家棟方志功のタッチでデザインされた「黒石よされTシャツ」。楽しくにぎやかなお祭りの雰囲気伝えるTシャツは、津軽黒石こみせ駅限定販売のオリジナル品です。

「津軽こみせ駅」

黒石市中町5 TEL.0172-59-2080
 営業9:00~17:00 ㊿平日
<https://tsugarukomise.jimdo.com>



津軽烏城焼

かつての黒石陣屋の城壁が黒く「烏城」と呼ばれていたのが「烏城焼」の由来。世界に誇る縄文文化が脈打つ青森県で、自然釉にこだわった「烏城焼」は、赤松で焼き上げられ、炎と土が織りなす“物語”が紋様として彩られます。2018年12月に完成した103.59メートルの登り窯は、世界最長の登り窯として、2019年8月にギネス世界記録に認定されました。

自然釉大壺

「津軽烏城焼三筋工房」

黒石市豊岡狼森27-109 TEL.0172-53-3082
 営業10:00~18:30 ㊿毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)
<https://www.ujoyaki.jp/>



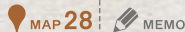
津軽塗

塗りと研ぎを繰り返し、完成まで約50工程と手間ひまをかけて作り出す、通称「津軽のバガ塗り」と呼ばれる津軽塗。伝統工芸士が一点一点丁寧に仕上げた作品は、堅牢な作りと深みのある色彩が特徴です。

あなたの生活空間に津軽塗はいかがでしょうか。オリジナル商品も承ります。

「津軽塗工房」

黒石市袋富山65-1(津軽伝承工芸館内)
 TEL.0172-59-5307
 営業9:00~17:00 ㊿火曜日(12月~3月は月曜日休業)



飛行機



- 東京(羽田) ⇒ 青森空港(1時間15分)
- 名古屋(小牧) ⇒ 青森空港(1時間20分)
- 大阪(伊丹) ⇒ 青森空港(1時間35分)
- 札幌(新千歳) ⇒ 青森空港(50分)

黒石市への アクセス

新幹線・在来線・高速バス



- 東京 ⇒ 新青森(新幹線:2時間59分)
- 仙台 ⇒ 新青森(新幹線:1時間30分)
- 八戸 ⇒ 新青森(新幹線:25分)
- 新函館北斗 ⇒ 新青森(新幹線:1時間1分)
- 新青森 ⇒ 弘前(特急:30分)
- 弘前 ⇒ 黒石(弘南鉄道:30分)
- 東京 ⇒ 弘前(高速バス:約9時間30分)

自動車



- 川口JCT ⇒ 黒石I.C.(東北自動車道:約8時間)
- 青森空港 ⇒ 黒石市内(40分)
- 新青森 ⇒ 黒石市内(50分)
- 弘前 ⇒ 黒石市内(35分)



※各区間の所要時間は
最速時間となっております。

[お問い合わせ]

黒石市商工観光部商工課

〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11-1 TEL. 0172-52-2111

URL. <http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>